

# 大腸カプセル内視鏡検査

## ■ ■ カプセル内視鏡検査とは



カメラを内蔵したカプセルを口から飲み込む内視鏡検査です。苦痛の少ない検査で、カプセル内視鏡が肛門から自然排出された場合、またはカプセル内視鏡のバッテリーが切れた場合に検査が終了となります。(自然排出するまでの時間は患者さんによって異なります)

カプセルは消化管を通過しながら画像を撮影し、腹部につけたセンサーから腰に付けた記録装置に撮影画像を転送して、この画像をもとに大腸疾患の診断を行います。

カプセル内視鏡には大腸検査用と小腸検査用があり、当院は両方を備えています。

## ■ ■ 検査のながれ

※カプセル内視鏡検査を実施する場合は、事前に診察を受けていただき、検査予約が必要です。



## ■ ■ 大腸カプセル内視鏡検査の利点と欠点

### 利 点

- ・検査時に痛みを伴わない
- ・羞恥心のために検査を敬遠しなくてよい
- ・自然な状態の大腸を観察できる

### 欠 点

- ・滞留の危険がある（※1）
- ・多量の腸管洗浄液の服用が必要である
- ・病変が発見されれば、改めて内視鏡検査が必要である

（※1）消化管に狭窄（腸の内腔が狭くなった状態）があった場合、滞留（狭窄部でカプセル内視鏡が溜ってしまうこと）する可能性があり、その場合はカプセル内視鏡を取り出す処置（内視鏡、外科的手術等）が必要になります。

## ■ ■ 大腸カプセル内視鏡検査が保険適応になる方

- ・大腸内視鏡検査を実施したが、腹腔内の癒着等により回盲部まで到達できなかつた方
- ・腹部手術による癒着、何らかの重篤な合併症、放射線医学的に診断された大腸過長症等で、大腸内視鏡検査が実施困難であると判断された方

【参考】カプセル内視鏡検査費用・保険適応（3割）の場合

→ カプセル内視鏡・検査費用 約3万円 + 初・再診料、薬剤費等が必要です。

※費用は内容により異なります。

ご相談・ご質問は内科外来までお気軽にお問い合わせください。

TEL (0859) 29-1100 (代)